



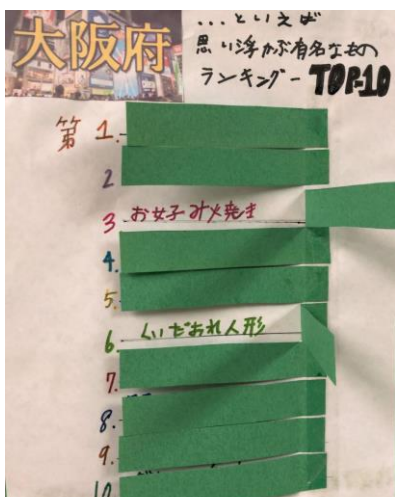
ニュージャーシー

補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

ユニークな発想

まず左の写真をご覧になり、一緒に考えてみてください。



廊下を歩いて、緑の色紙がヒラヒラしているのに気がつきました。中等部一年一組村松健斗さんの作品です。彼はよく担任の先生のお手伝いをして感心させられることがあります。大阪府で有名なものトップテン、そのまま書くのではなく、読む人が一つ一つ色紙をめくって確かめるというアイデアに感

心しました。思わず三番目を、めくってみると「お好み焼き」、それではと次に六番目をめくってみると「くいだおれ人形」でした。作るのに時間も掛かったと思います。

このように、本校の掲示物には驚かされたり、感心させられたりする作品が多くあります。保護者の皆様も、子供達の送り迎えの時、ぜひ各教室前の廊下を回られたらいかげでしようか。日頃の子供達の活動の様子が作品を通して浮かんでくると思います。

五六年生授業参観

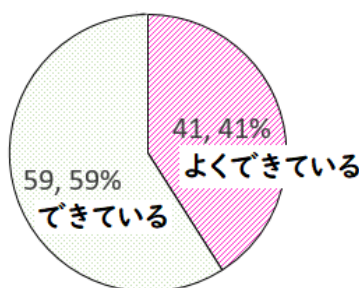
先週は初等部五六年生と中等部及び国際学級の授業参観があり、多くの保護者の方々にご来校いただきました。また、アンケートにもご協力をいただき、ありがとうございます。

アンケートに「先生は、わかりやすい説明や的確な指示を出している。」という項目がありました。この項目は「よくできている」69%、「できている」20%、両方で89%との回答となりました。高い評価をいただき、教職員一同励みになりました。しかしながら、まだ不足している部分もあります。今後分

かりやすい授業を目指し、授業研修に全校体制で取り組みます。

アンケートの児童に関する項目に「授業前に教科書・ノートなど必要な準備をしている。」

授業前に教科書・ノートなど必要な準備をしている。



があり、結果を表にまとめました。

図から分かるように「あまりできていない」、「できていない。」

という回答はありませんでした。子供達が高学年になり、授業に取り組む自覚と自分で言うという自主性が育ってきている様子が分かります。これからの成長が楽しみになる調査結果でした。

第二十五号
令和元年
十一月二日
発行